

経営比較分析表（令和6年度決算）

石川県 かほく市

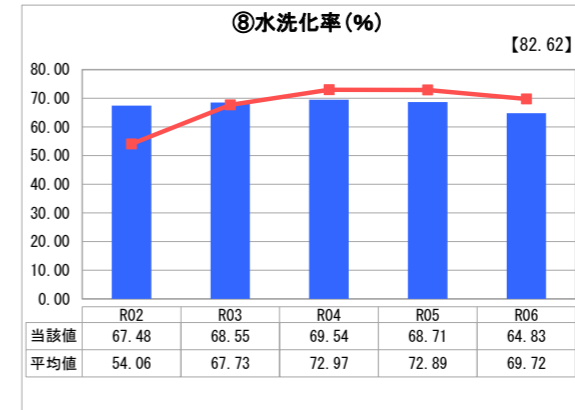
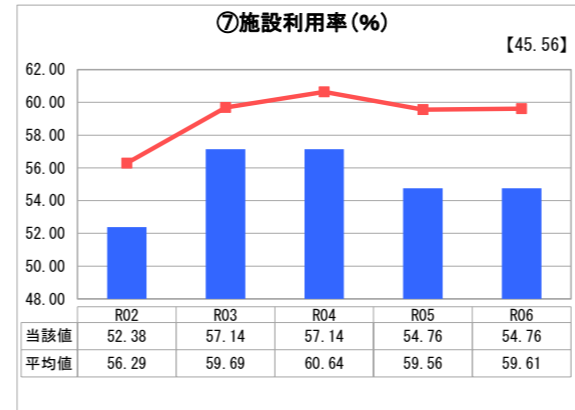
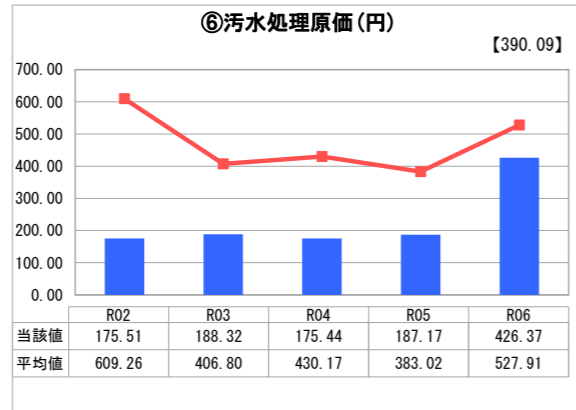
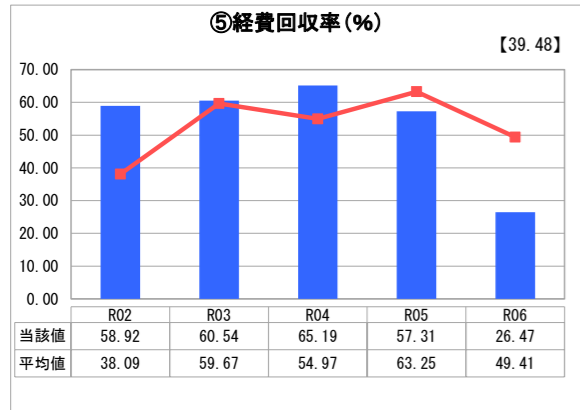
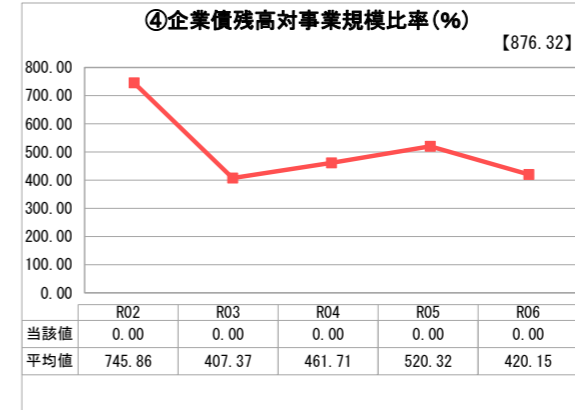
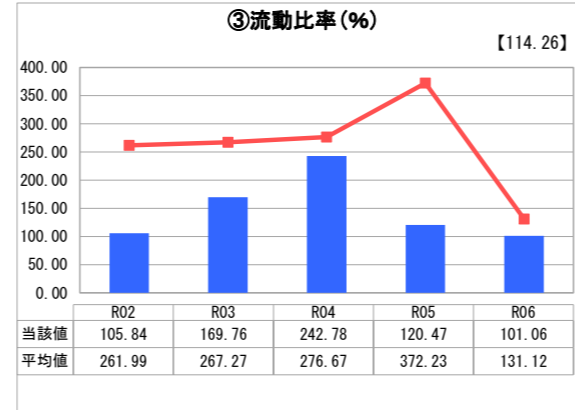
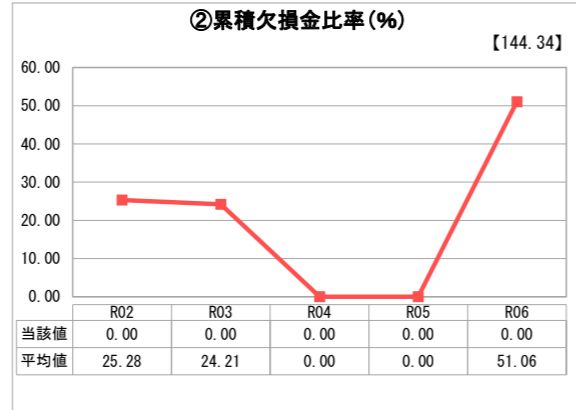
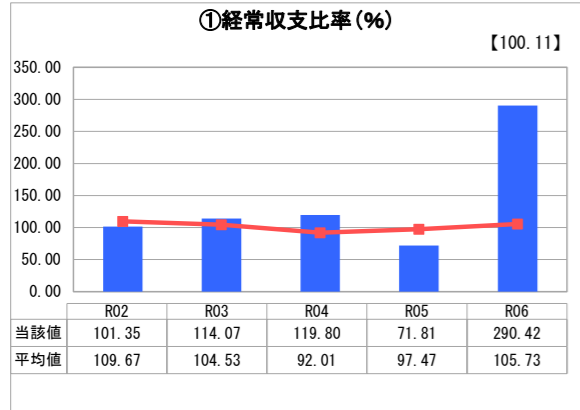
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	55.44	0.40	100.00	2,442

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
36,200	64.44	561.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
145	0.07	2,071.43

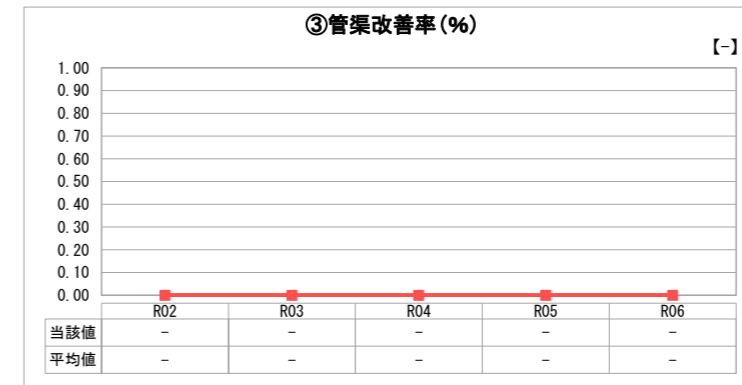
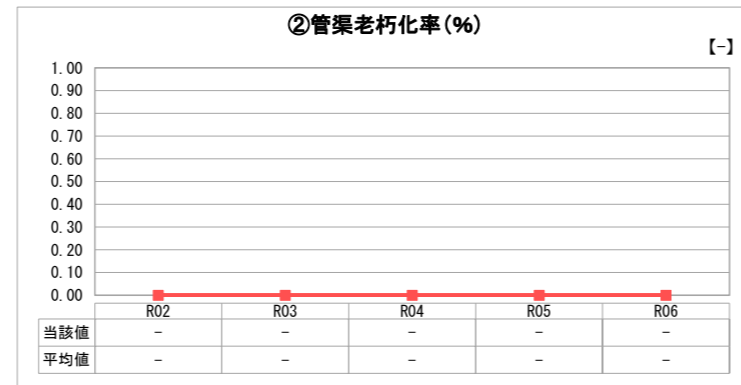
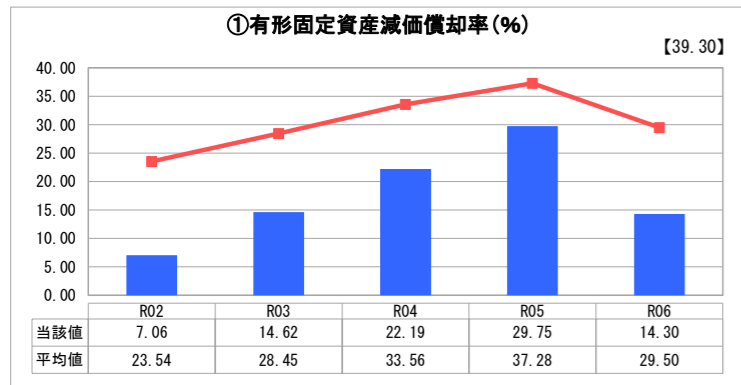
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

事業規模が小さく区域内人口も減少傾向にあるため、収益も少ない。経常収支比率は黒字を示す100%以上となっているが、一般会計からの繰入金により事業運営を行っている状況である。経費回収率については100%を下回っており、使用料収入で回収すべき経費を使用料で賄えてない。移管された既存浄化槽の管理業務が主であり、清掃や修繕等の維持管理にかかる費用は増加傾向にある。

2. 老朽化の状況について

浄化槽について耐用年数を経過したものはないが、ブローワー等の機器修繕等は増加傾向にある。老朽化による浄化槽更新も発生しており、更新に伴う財源確保が課題である。

全体総括

浄化槽の整備時期が集中している為、修繕及び更新時期についても同時期に発生することが予想される。また物価高騰による費用の増加も見込まれ、経営は厳しい状況にある。今後は令和8年度からの使用料改定及び経営改善により、効率的な維持管理に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。